

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年12月5日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2775502699
法人名	社会福祉法人 登守会
事業所名	グループホーム穴太のせせらぎ
所在地	八尾市宮町3丁目4-52 (電話) 072-929-0223

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年11月25日

【情報提供票より】(平成20年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	22人	常勤	9人, 非常勤 13人, 常勤換算 18.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	2階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	2,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(126,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,700円			

(4) 利用者の概要 (平成20年11月1日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	2名	要介護2	7名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.1歳	最低	58歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人和佑会 西村クリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地元出身の方が社会福祉法人を設立して運営するグループホームで、ヘルパーステーション、ケアプランセンターを併設しています。「心寄り添う暮らしを目指します」「心穏やかに生活できる環境を創造します」「心安らぐ信頼のホームを実現します」を理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は個別ケアの実施を目指し、リスクや排泄、外出など様々な角度から利用者を捉え、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援しています。利用者には落ち着きと笑顔がみられます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された事項について、改善を進めています。運営推進会議を年6回のペースで開催し、新人研修を実施して記録を残し、年2回の消防避難訓練を行い、災害に備えて食料や水の備蓄もしています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、管理者が計画作成担当者と相談して原案をつくり、職員と話し合って完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は八尾市職員、民生委員、高齢クラブ会長、家族、利用者の参加のもとで、おおむね2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営や行事の状況、利用者の生活ぶり、ホーム職員が取り組んでいる業務目標の進捗状況、虐待防止の基本、介護予防対策などについて説明して意見を交わし、地域との相互の理解を深めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。本年度より毎月、行事案内や職員異動などのお知らせを載せた「せせらぎ便り」を発行しています。利用者一人ひとりの生活ぶりや体調について職員が手書きした手紙と金銭管理報告の領収書を同封し、家族に送付しています。家族の来訪時には金銭出納簿を見せ家族の署名を貰っています。家族とは日常の面会時に家族の思いや希望、不満を表せるように対応しています。またご意見箱も設置しています。ご意見をいただくための用紙を家族に郵送することもあります。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	母体法人の代表者やホームの施設長はこの地域の出身者で、地域との交流や関わりは深くなっています。隣接する高齢者住宅の住民とは双方の建物の間にあるホームの庭園や行事に招待して交流し、介護保険の相談にもなっています。盆踊りや夏祭り、清掃などの地域の行事にも参加し、ギター演奏、フラダンス、盆踊り、沖縄民謡・民踊などの地域のボランティアも受け入れています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心寄り添う暮らしを目指します」「心穏やかに生活できる環境を創造します」「心安らぐ信頼のホームを実現します」を理念として定め、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し玄関に掲示しています。職員全体会議やリスクマネジメント委員会、個別ケア担当者会議、サービス担当者会議等、日々の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	母体法人の代表者やホームの施設長はこの地域の出身者で、地域との交流や関わりは深くなっています。隣接する高齢者住宅の住民とは双方の建物の間にあるホームの庭園や行事に招待して交流し、介護保険の相談にのっています。盆踊りや夏祭り、清掃などの地域の行事にも参加し、ギター演奏、フラダンス、盆踊り、沖縄民謡・民踊など、地域のボランティアも受け入れています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善を進めています。運営推進会議を年6回のペースで開催しています。新人研修については実施後に記録を残しています。また年2回の消防避難訓練を行い、災害に備えて食料や水の備蓄もしています。自己評価については、管理者が計画作成担当者と相談して原案をつくり、職員と話し合っ完成させ、認識の共有化を図り、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は八尾市職員、民生委員、高齢クラブ会長、家族、利用者の参加のもとで、おおむね2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営や行事の状況、利用者の生活ぶり、ホーム職員が取り組んでいる業務目標の進捗状況、虐待防止の基本、介護予防対策などについて説明して意見を交わし、地域との相互の理解を深めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は八尾市の担当職員と相談・情報交換を行っています。また市が開催する事業者連絡会議や講習会に参加し意見交換をしながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。本年度より毎月、行事案内や職員異動などのお知らせを載せた「せせらぎ便り」を発行しています。利用者一人ひとりの生活ぶりや体調について職員が手書きした手紙と金銭管理報告の領収書を同封し、家族に送付しています。家族の来訪時には金銭出納簿を見せ家族の署名を貰っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは日常の面会時に家族の思いや希望、不満を表せるように対応しています。またご意見箱も設置しています。ご意見を頂くための用紙を家族に郵送することもあります。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	比較的多くの職員が退職していますが、残った職員の頑張りや新人職員の採用で利用者への影響は最小限に抑えられており、利用者には落ち着きと笑顔がみられます。家族への職員紹介は「せせらぎ便り」に記載しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や内部の勉強会で認知症や感染症、食中毒、緊急時対応、虐待防止等について研修をしています。新人職員の採用時研修も計画的に実施し記録を残しています。ただ一部の職員の表情に固さがみられ、ベテラン職員との融和とチームワークの醸成が望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市が主催する事業者連絡会での交流を行い、施設長のネットワークでは他市町村の複数のグループホームと見学会や情報交換をしています。また大阪認知症高齢者グループホーム協議会にも加入し、情報を得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族にホームへ来訪してもらって生活体験や行事参加をしてもらったりすることにより、馴染みの関係作りを行っています。家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを提供できるように取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。職員や他の利用者とともに、パッチワークで食堂の椅子の座布団や居間の装飾タペストリーを作る裁縫の得意な方、車イスの利用者のためにレッグウォーマーを編む方、アクリルたわしを編む方等、それぞれ得意な能力を発揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式によるアセスメントを実施しています。毎日の生活での思いや意向についても、個別ケア担当グループの職員が全利用者の「集団レクや個別レクの希望」について日々の係わりの中から気付いたことを把握・整理し、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみの希望に沿えるよう支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。個別ケア担当者グループやリスクマネジメント委員会、排泄担当者会議等の職員と連携をとりながら、各利用者について計画作成担当者と3～4人の職員が3ヶ月毎にモニタリングを行い、サービス担当者会議を開いて介護計画の見直しにつなげています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要の都度通院介助も行っています。地域の方々に対しても介護保険についての相談に応じ、地域のボランティアも受け入れています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は協力クリニックの医師による医療を受けていますが、診療科目や利用者や家族の希望により、以前からのかかりつけ医（医療機関）で引き続き医療を受けています。協力クリニックと連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、ホームで重度化した時や看取り実施時の指針を家族に説明し、同意を得ています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行い、意向の確認を続けていく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。個別ケアを目指して、食事の時間や場所に柔軟に対応し、急な買い物や外出にも応じています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材業者から生食材を取り寄せ職員が調理しています。利用者は食材の仕分け、食事準備、野菜の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の得意な分野で参加して楽しんでいます。週1回の食事やおやつは利用者の好みのものを作っています。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。菜園で収穫した野菜が食卓にのることもあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に3～4回、ゆっくり寛いだ入浴を楽しみ、入浴しない日は足浴や手浴をしています。また毎月1週間の期間を設け「せせらぎ温泉」という名前でゆず湯や菖蒲湯等の季節感を味わえる行事風呂を楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。また個別ケアグループが把握している利用者個々の裁縫や編み物、日曜大工、民謡、図書館通い、新聞や週刊誌読み、金魚の餌やり等の楽しみや気晴らしの支援を受けています。「せせらぎ喫茶」を開いて色々な飲み物とおやつの喫茶セットを味わい楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に中庭、神社、公園への周辺散歩や買物に出かけるとともに、季節の花見や初詣にも出かけています。また、個別の外出に取り組み、利用者の希望に応じて、墓参りや知人宅訪問、喫茶店、昔の勤務先への訪問、スーパー銭湯等に出かける支援をしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の時間帯は表玄関やフロアドアには鍵をかけず、利用者の外出希望には見守りに対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアルを作成し、年2回の消防避難訓練を実施しています。そのうち1回は消防署の指導のもとで行っています。前回の外部評価で示された非常・災害時の食料品と水の備蓄について実施しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者全員の一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し、記録しています。栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に花を咲かせる多くの木がある庭園があり、ホームの玄関周りには花壇やプランターに季節の花が植えられ、訪ねやすい雰囲気になっています。明るくて、開放感のある広いリビング・ダイニングルームには、寛げる広いソファースペースがあり、季節の花や果物、観葉植物、絵画、手作りの装飾パッチワークタペストリーを飾っています。またそれぞれの金魚に名前をつけ、利用者が交替で餌やりをするための水槽もあり、居心地のいい落ち着きを感じさせる共用空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により畳を利用することもできる居室には、利用者が洋服ダンスや整理ダンス、ローボード、ドレッサー、椅子、仏壇、遺影、装飾品、手作り作品、家族の写真、孫が描いた絵等、使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、家族の思いも感じられ、利用者が安心して過ごせる居場所になっています。		